

## 2020東京オリンピック参加システム（抜粋）

2018.10.01

- ① 東京オリンピック参加へは個人資格とする。
  - ・参加人数・・・男子98名、女子98名（1ヶ国男女とも最大4名枠、開催国枠男子3名、女子3名）。
  - ・実施階級・・・男子:IWF10階級(55・61・67・73・81・89・96・102・109・+109)の内、7階級(61・67・73・81・96・109・+109)を実施。  
女子:IWF10階級(45・49・55・59・64・71・76・81・87・+87)の内、7階級(49・55・59・64・76・87・+87)実施。
  - ・1階級1ヶ国1名の制約。 1NOCから最大4名の制約。
  - ・各階級14名が出場できる。その内上位8名が世界ランキングポイントで選考され、5名が各大陸代表。残り1名は第3者委員会推薦(開催国3の場合はここに入る)。
- ② 選手選考はトータル×ロビーポイント×傾斜配点のポイントで順位がつけられ、IWFのHPに記載される。(2020.04.30までの期間)。
  - ・IWFが指定した6大会に出場し上位4大会の合計ポイントの記録の高い順から選考(ただし以下に示された期間の規定あり)。
  - ・大会のレベルにより(ゴールドレベル1.1倍・シルバーレベル1.05倍・ブロンズレベル1.0倍により)傾斜配点がある。  
ゴールドレベル・・・世界選手権大会、大陸競技大会(それぞれシニア、ジュニア)  
シルバーレベル・・・上記以外の現存するIWFイベント:複合競技大会・選手権大会  
ブロンズレベル・・・IWFが認めた国際大会、選手権大会、Cup等
  - ・ポイントの算出について  
下記の3期(2018.11.01-2019.04.30, 2019.05.01-2019.10.31, 2019.11.01 - 2020.04.30の間)に出場し、各期間中の最高得点を抽出。  
残る1大会は各次点のうちの最高得点。(各期で1大会以上、計6大会以上、内4大会の合計ポイントで順位が決定。出場したいオリンピック階級には最低2大会出場
  - ・各階級世界記録となるスタンダード記録を設定する(ロビーポイントの基となる)
- ③ 日本は地元開催国枠男女3名を確保している。世界ランキングにより最大4名枠獲得が可能(4名全員がランキング8位以内に入ること)。

		1 期				2 期				3 期						
全日本大会	アジア競技大会	☆世界選手権大会	☆カタールカップ	世界ユース大会	☆アジア選手権大会	全日選手権大会	☆世界ジュニア大会	☆フレンドシップ大会	☆世界選手権大会	☆アジア選手権大会	世界ジュニア大会	東京オリンピック				
		TKM	QAT	USA	CHN		FJI	JPN	THA	KAZ	EGY	JPN				
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2018				2019				2020								

※随時、オリンピック参加ポイント獲得大会IWFホームページに掲載される。  
☆印は2020東京オリンピック参加資格大会 今後大会が増える予定で確定はしていない。